

不登校を考える学習会の報告書

2023（令和5）年10月14日（土） 14：00～17時、小郡市人権教育啓発センター 大集会室で、小郡市教育委員会人権・同和教育課主催で「不登校支援の輪を広げよう」のテーマで会長の木村素也が講演をしてきました。当日は50名ほどの参加者があり、熱心に学習が進められました。最初は私が①不登校の現状と課題②最近の不登校生の特色③不登校生の「学校に行けない」の原因は何④学校に行きたくても行けない子ども達に対する具体的な考え方やサポートについてなどを話し、その後体験者の保護者として牟田 恵美子さん（ぼちぼちの会・SSW）が貴重な体験を話してくださいました。最後質疑を行い終了しました。終了後に交流会を行い小グループでの意見交換などがありました。17時ごろ終了し、解散しました。詳細は後日小郡市のHPなどに掲示されます。感想など報告を寄せさせていただきます。

小郡市教育委員会 人権・同和教育課 主催
この学習会、小郡市教育委員会 主催の学習会です。お気軽にご参加ください。

学ぼう 語ろう つながろう

小郡市では、教育委員会主催で「不登校を考える学習会」を行っています。不登校の子どもをもつ保護者の方々に企画から加わってもらい、学習会の内容を一緒に考えています。まわりの大人（祖父母や地域の方など）が子どもたちに対してどのように見守ったり関わりたりすればいいのかなどの意見を大切にしながら、悩みを共有し、子どもと保護者がほっと元気になる学習会にしたいと思います。
どなたでも参加できる学習会です。ぜひご参加ください。

※ 前日より、事前申し込みは不要となりました。なお当日は、各員 感染症対策をお願いします。また、発熱がある方の参加はご遠慮ください。

日時： 2023年 10月 14日（土） 14：00～（受付13：30～）
テーマ： 「不登校支援の輪を広げよう」

講師：不登校生保護者の会「ぼちぼちの会」会長 木村 素也さん
木村素也さんは、元小郡市立小郡中学校校長として、小郡市の公立中学校で30年にわたって校長を務められました。その間に多くの不登校生と向き合い、保護者や地域のみなさんと協力しながら、子どもたちの学びの場を確保し、学校に送り届けておられました。学校にどうしても戻らない子ども、帰郷しなくていい、それより、家で過ごすことの方がいい、というスタンスでも子どもを尊重し、寄り添っている生徒や保護者に出会ってこられました。講師として、保護者や地域のみなさんと一緒に学び、不登校の子どもや保護者の方から多くの学びを受けておられます。

【講師の経歴について】
5月に新型コロナの感染流行を受け、子どもたちの学びの場は大きく変化しました。コロナ前とコロナ後の不登校生の現状、数が増加だけでなくその環境も変わりました。特別支援課、フリースクール、校内教育支援センターなど、対応は多岐にわたります。文部科学省の指導や認定などに従って対応が求められるようになりました。これは、今までは以上に個別の子どもの話をしっかり聞いていく必要があることでもあります。不登校生だけでなく、インクルーシブ教育も必要、必要な子どもに必要な教育的配慮をすることが大切になります。今年度、不登校生支援の輪を広げようというテーマで、保護者の方や学校に「行けない」と悩んでいるお子さんをご参加いただきたいと思います。

会場：小郡市人権教育啓発センター 大集会室
（小郡市教育委員会 人権・同和教育課）
〒692-0202 小郡市小郡2-1-11
TEL: 0942-72-2111 FAX: 0942-72-2132

この学習会の内容は、小郡市ホームページでご覧いただけます。



小郡市 不登校を考える学習会（第2回） アンケート

2023. 10.14 小郡市人権教育啓発センター

参加者：50名（講師を除く） アンケート回収枚数： 37枚

1. 所属【内訳】

・保護者：11名 ・学校関係：5名 ・一般：3名・行政：7名・地域：20名 ・その他、4名

2. 本日の学習会について感想

・とても良かった：20名（64.5%） ・良かった：11名（35.4%）
・あまり良くなかった：0名 ・良くなかった：0名 ・未記入：6名

3. 本日の学習会に参加されてのご感想・ご意見をお書きください。

・自分はこれまで、いろいろな話に振り回されていたのかも知れないと思いました。

- ・ 3人の子の母親として大変参考になりました。勇気づけられました。
- ・ 「不登校に対する罪悪感から劣等感への変化」という、苦しんでいる子どもたちの心理の変化を学びました。
- ・ 不登校の原因についての知識が少ないので勉強に来ました。参加してよかったです。
- ・ 実際に経験された方の話が聞けてすごく参考になりました。
- ・ 胸が張り裂けそうになりました。子どもの立場に立つことを大切にしたいです。
- ・ 地域の方と一緒に取り組んでいきます。（地域にも不登校の方がいますので）
- ・ 自尊感情の話、とても勉強になりました。
- ・ 毎年、木村先生のお話を聞きに来ています。ぜひまた参加したいです。
- ・ 体験談がとてもよかったです。
- ・ ありのままを受け入れる心優しい社会になってほしいです。
- ・ 人とのつながりが子どもにも保護者にも一番大切なことだと改めて感じさせられました。
- ・ 実際に経験された話だけにすごく参考になりました。もっとお話を聞きたいです。
- ・ 学校に行かなくてもいいというような声かけをしている自分の言動を振り返りました。保護者の会は必要ですね。
- ・ 孫の学習に対する意欲の低さが気になっていました。今日のお話は参考になりました。
- ・ 理論的な話、体験的な話がありよかった。
- ・ 学校に無理していかななくてもいいよね。というのは少し物わかりがいいようにも感じましたが、そうではないのだと、もっと違う視点が必要なのだと思います。
- ・ 今日の話はぜひ学校の先生方にも共有していただけたらよかったと思いました。
- ・ 学校に行かないことへのハードルを下げている言葉かけをしている自分を振り返りました。保護者の会は必要ですね。
- ・ 新しい指導方法、考え方を学習しました。日々変化する社会で子どもたちが豊かに成長することを考えることができました。自尊感情がとても大事で生きてるだけで十分だ。
- ・ 不登校を考える学習会ですので、小郡市の状況についても知りたいです。
- ・ 木村先生のお話になぜかことが多く勉強になりました。
- ・ 今の不登校の現状を知ることができて本当によかったです。
- ・ 話を聞く。でもその通りにはしなくていいという木村さんの考え方がすごく斬新でした。
- ・ 他の方にもこれらの情報を伝えていきたいなと思いました。
- ・ なるべく共感するように聞こうと努めていますが難しいです。気を付けたいです。
- ・ 転び方を知るという話になぜかきました。不寛容な社会背景が転ぶことを許さない一担っていると思います。学校によってはギチギチの生徒指導をやっているところもあるかと思います。現場はもがいていることは知ってほしいと思います。